

高齢期の全身炎症と浮腫を経て皮膚状態と検査値が変化した成人アトピーの経過
(82 歳 女性)

症例 ID：001-80-MK4 | 記録日：2016 年 7 月 4 日

1. 診断・治療前経過

数年前から足に湿疹が出て、近医で結節性痒疹と診断され、軟膏とステロイド剤を処方されていました。
その後、炎症が全身へ広がり、足の浮腫みも続いて、松本医院を受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	足の湿疹に軟膏とステロイド剤を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	数年前から使用歴があります。
中止時期	松本医院受診時期と考えられます。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
数年前	発症	足に湿疹が出て、近医で結節性痒疹と診断されました。
治療前	悪化	全身に炎症が広がり、足の浮腫みが続きました。
2015 年 10 月	治療開始	漢方薬、灸、漢方風呂などを開始しました。
治療 1 週間	変化	足の浮腫みが引き始め、皮膚片が多く剥がれました。
治療 1 か月	停滞期	炎症と再生を繰り返し、痒みが続きました。
治療 2 か月	改善傾向	足の浮腫みが引き、足首が見えるようになりました。
約半年後	経過中	大きな炎症が引き、TARC やリンパ球などの数値にも変化がみられました。

4. ピーク時期

ピークは、治療前から治療初期にかけて、全身の炎症、足の強い浮腫み、皮膚片の剥離が重なった時期です。

5. 困りごと

- ・足の浮腫みにより膝を曲げることや移動が難しくなりました。
- ・高齢と軽い認知症があり、家族の支援を受けながら治療を続けました。
- ・全身への処置や灸、入浴など、日常のケアが必要でした。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

項目	H27.10.10	H27.12.5	H28.2.13	H28.3.26	H28.5.7
IgE	2141	2127	706	1474	1242
TARC	72620	4563	1853	481	426
リンパ球	13	11	15	20.3	18.7
ACTH	2.6	28.2			



経過中の画像記録。



経過中の画像記録。

項目	H27.10.10	H27.12.5	H28.2.13	H28.3.26	H28.5.7
					
	経過中の画像記録。		経過中の画像記録。		

7. 経過のまとめ

治療 2 か月頃には足の浮腫みが大きく軽減し、足首の状態も変化しました。

約半年後には大きな炎症が引き、TARC は 72620 から 426 へ、リンパ球は 13 から 18.7 へ変化していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。